

千葉市科学フェスタサテライト会場

日 時：2012年11月3日

場 所：千葉大学教育学部4号館306教室

目 的：

サイエンススタジオ CHIBA と連携し、科学フェスタの実施の一端を担う。

学校教育の中で基本的な心肺蘇生法について扱うことは学習指導要領において示されており、該当学年にあわせて実施されている。しかし、その中でからだの仕組みを科学的に考え、心肺蘇生法の意義や根拠とあわせて指導されることは少ない。心肺蘇生法の実習をその意義や根拠の講義を踏まえておこなうことで、より実践的な心肺蘇生法の技術の獲得を目指す。

プログラム：

- 1) 心肺蘇生法のデモンストレーション
- 2) 心臓を中心とするからだのしくみと心肺蘇生法に関する講義
- 3) 胸骨圧迫・AEDの実習・評価
- 4) アナフィラキシーに関する講義・実習

実施の様子：

中学1年生から高校生1年生までの受講生4名をむかえ、実施した。心肺蘇生法の基本的な流れをデモンストレーションしたあとにからだの仕組みとおこなった心肺蘇生法それぞれの意義を説明していくと、とても興味深そうに話を聞いていた。

実習では、全員が胸骨圧迫・AEDの練習をした。その後、胸骨圧迫の圧迫位置・深さ・圧迫の解除の具合・速さ等を画面に映せる心肺蘇生法の練習人形を用いて適切な胸骨圧迫がおこなえているかを見てみることで、「適切な胸骨圧迫」とはどういうものかをそれぞれが再確認した様子であった。

(河野仁美、秋山茉弓、石田菜摘、北崎七重、小林容子、西村亜佐子、三神山英実、杉田克生、野崎とも子)

